

# 戸山77期生通信 第4号

2022.8.8 創刊

7/19(火)3・4限、1学年の学習ガイダンスが講堂にて行われました。

学年進路より、まずは夏季休業中の大学オープンキャンパス参加について。ホームページなどではわからない現場の様子を知るため、自らの足で情報を集めるのは大事なことです！先生からは、「大学構内で自撮り写真を撮ってきてね」と。どこをフォトスポットに選ぶのか？センスが問われますね。そして、模試との向き合い方についての指南もありました。過去の先輩たち（匿名）の貴重なデータを目の当たりにしたことで、自分の未来をイメージするきっかけになったのではないのでしょうか。

続いて各教科からのお話。国語科からは「**さまざまな作品とじっくり向き合ってほしい**」というメッセージが心に刺さりました。入学してから約3か月半、目まぐるしい日々を過ごしてきた77期生のみなさん。夏休みは少し時間のゆとりができるはずです。本や映画・ドラマなど、心が揺れ動かされる作品に出会えるとよいですね！

数学科からは先生自身の経験を交えたストーリーを聞くことができました。「**私、中学までは数学苦手だったんです**」という意外な話から、数学の成績がグンと伸びたきっかけまで。現在壁にぶつかっている生徒のみんなも、きっとどこかで成長のきっかけが見つかるはずです！

英語科の話はとても情熱的。これくらい熱い気持ちを持たないと上を目指せないぞ！そう感じさせてくれる講演でした。ただし、話の内容はきわめて緻密。「**ハードな問題集に慌てて手を出さないこと！**」「**今は単語をしっかり積み上げる！**」生徒たちの目の色はしだいに変わっていきました。そして最後、会場にはなんとも言えないどよめきが起こりました。（理由は現場にいる人のみぞ知る）

理科は話の冒頭、「**私が何の教科だかわかってない人もいますよね？今日は覚えてもらうために白衣で来ました。**」という先生の挨拶。『メラビアンの法則』という有名な心理学用語があるとおり、視覚的に印象づける工夫です。（生徒の皆さんは人に覚えてもらうため、どんな工夫をしていますか？悪い印象は話が別ですよ）。また、「**みんな体を伸ばしたり動かしたりしてみてー！**」と言いながら、「**なんで体を動かすと眠気がなくなるんだと思う？**」と知的好奇心を促してくれます。知識を身につけるだけでなく、「なぜ？」とか「もっとこんなやり方があるぞ」など**思考力・判断力**を高めることが、現代に求められる能力なのです。そして、周りにアウトプットする**表現力**も必要ですね。

評価に関しては、保健体育科から具体的な説明がありました。特に、今年度入学の1年生から導入された観点別評価についての話。「**足が速い、球技がうまい、といった目に見える記録や能力はあくまで知識・技能に分類されるものだよ。評価のほんの一部なんです。先生たちはさまざまな視点をもって、みんなのことを見ていますよ。**」と。他教科にもつながる横断的な話が聞けました。ここに書ききれませんが先生の熱い体験談がぐっと胸に刺さりました。



**ではみなさん！有意義な夏休みをお過ごしください！**

（写真：学習ガイダンスの様子）